

⑤

地域協働専攻  
国際協働グループ

## 地域としての外国人技能実習生の受け入れ

【メンバー】 [学 生] 系賀 知葉/川田 瑞穂/佐々木 結衣/須田 紗穂/仙波 樹  
成田 早希/堀智 尋/横沢 未来/和田 あかね  
[担当教員] 孔 麗

## 【背景と目的】

人口減少や少子・高齢化などによる人手不足を補うために、外国人技能実習生の受け入れが増加し、函館でも年々増加している。しかし、「技能実習制度」は、本来、日本で培った技術や知識を自国へ還元するのが目的であるが、その目的と実態が乖離しているのが実態である。また、今年4月には、新たな在留資格が創設され、技能実習修了者の多くがこれに移行すると見込まれる。

このことから、技能実習制度についての学習や監理団体、受け入れ企業を訪問し、実情を把握するとともに、実習生との交流会などで知識や理解を深め、地域として技能実習生を支えるために何ができるのかを目的に活動を行った。

## 【活動概要】

## ①座学研修



## ②広域監理団体による講義



## ③監理団体への訪問



## ④企業への訪問



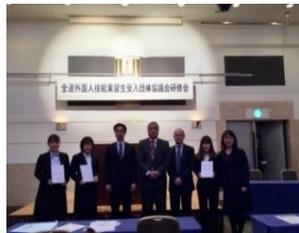
## ⑤農協・農家・技能実習生との意見交換会



## ⑥全道受け入れ協議会研修会



## ⑦函館市からの講話



## ⑧入国後の法定講習への参加



## ⑨韓国の外国人労働者実態の紹介



## ⑩産官学連携 初の異文化交流会



## 【活動成果】

- ・各々が技能実習制度のポイントをまとめ、制度の仕組みと問題や課題について理解を深めた。(写真①)
- ・日本と送出国の政府、受入れ・派遣機関、企業が連携していること、中には制度を悪用する機関等もあることを知った。また、実習生への母国語での支援を行っていることやコミュニケーションをとる際に注意していることについて学んだ。(写真②)
- ・技能実習生の暮らしぶりや受入れ企業との関わり方について理解を深めた。(写真③)
- ・技能実習生の受入れコストの負担が大きいことが分かった。(写真④)

- ・農業協同組合から受入れの現状、農家から経験談を聞くとともに、技能実習生との懇談会を行った。(写真⑤)
- ・札幌入国管理局をはじめ関係機関の方々から、送出国の現状と今後の動向について研修を受け、修了証を授与していただいた。(写真⑥)
- ・函館市国際・地域交流課の方を招き、市としての外国人労働者へ向けた活動について学習した。(写真⑦)
- ・法定講習の一環として、日本の文化・生活についてのプレゼンテーションや書道体験を行った。その中で、地震や日本語習得への不安などがあることを知った。(写真⑧)
- ・人手不足で実習生に頼るほかない企業の現状や、韓国での外国人労働者に対する政策、外国人労働者によるデモや労働者に対する偏見があることを知った。(写真⑨)
- ・函館市との共催で、監理団体、受入れ企業、市民、外国人技能実習生を招き、生け花、中華餃子づくりを通して、アジア諸国からの外国人技能実習生との交流を行った。(写真⑩)

### 【総括と反省・今後の課題】

これまでの活動を通して次のことが明らかになった。

- ① 技能実習生の受け入れ理由は、従業員の高齢化や労働不足への対応であること。
- ② 実習生が困難に感じている日本語の習得について、企業や監理団体、市では、学習会を開くなどのサポートを行っている。
- ③ 今後の外国人労働者の受け入れ拡大にあたり、地域住民の理解向上や、地域としての受け入れ態勢の強化が必要であること。
- ④ 実習生との双方向的なコミュニケーションを心がけることが重要であること。

このことから、これまでの活動から得た知識をもとに、新制度の下で実習生の労働環境や生活環境の改善を実現するための支援のあり方について考えることを今後の課題とする。

### 【地域からの評価】

農業協同組合・農家・技能実習生との意見交換会を行った際に、日本文化・食文化交流を通して、市役所・企業・監理団体・実習生・市民の方々それぞれから、楽しく交流することができたとの評価をいただいた。このような機会を継続して行ってほしいとの意見もあった。

技能実習生と同年代の視点から、日本での生活に役立つことをアドバイスしてほしいという意見もあった。

私たちの活動は『函館新聞』と『北海道新聞』にも掲載された。

### 【その他】

#### <地プロⅠ>

10月

オリエンテーション

講義：外国人技能実習制度の仕組み①

講義：全国及び北海道の外国人技能実習生の受入れの実態

11月

・広域型監理団体による講義：監理団体の受入れ実態と役目

・反省会

・全道外国人技能実習生受入れ協議会事務局訪問、インタビュー調査

・函館市内大手水産加工企業の訪問、インタビュー調査

12月

・新函館農業協同組合による講義：農業現場における外国人技能実習生の受入れの実態

・反省会

1月

・今後の活動についての議論

・産学市民参加の交流会：外国人技能実習生に対する地域としての受入れ

・中間発表会の準備

・中間発表会

#### <地プロⅡ>

4月

・全道外国人技能実習生受入団体研修会の参加

・技能実習生入国後法定講習への参加  
技能実習生と交流―書道や童謡に挑戦―

・活動の事後報告会

5月

・函館市による講義：外国人技能実習生や外国人労働者の受け入れに対する函館市の取組み

・監理団体・有識者による講義：日韓両国における外国人労働者受入れ動向と実態

・活動の事後報告会

6月

・産官学連携 初の交流会  
(生け花、調理など楽しむ)

・反省会

7月

・年間活動の総括と議論

・成果発表会の準備

・成果発表会